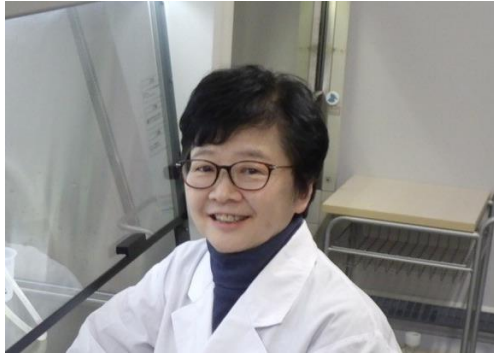


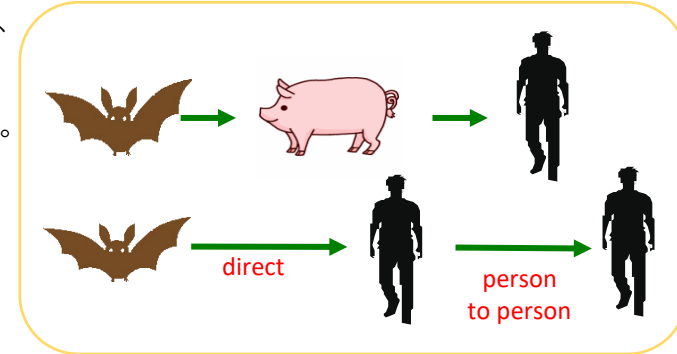
いつか迫る脅威に今から備える、一生もののワクチン

自己紹介



どんな感染症ですか？

1. 1998年に初めて出現した感染症で、オオコウモリからブタを介したり、または直接感染したりして、呼吸器症状と重篤な脳炎を引き起こします。ヒトからヒトへも感染します。致死率は平均70%。南アジア地域では毎年数十例程度発生しています。
2. 実用化されている予防法および治療はありません。



どんな研究ですか？

1. 麻疹ウイルスベクターを利用したニパワクチンの作出と製造です。
2. ヒトでの安全性とワクチン効果を検討後、臨床試験を実施します。

実験室での検証

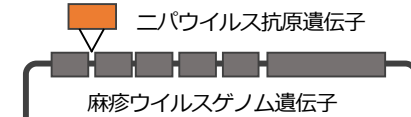
↓
製剤として製造

↓
臨床第1相試験

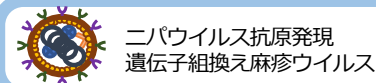
↓
臨床第2相試験

↓
認可

ワクチンプラットフォーム



↓ リバースジェネティクス技術



↓
ニパウイルス感染症に対するワクチン

研究内容

・麻疹ウイルスベクターワクチンの優れた特徴を実用化研究によって示し、新たなワクチン開発の基盤となります。

このワクチンが開発されるとどんな良いことがありますか？

1. 研究開発の達成目標

本ワクチンの人における有効性と安全性を確認し、実用化につなげます。

2. 期待されるヒトへの成果

- ・本ワクチンによって、発生国はもちろん、発生地域への渡航者など多くの人々をこの致死性感染症から守ることができます。
- ・本ワクチンは、2度の接種によって強い防御効果を示す免疫を誘導することが期待でき、その効果はほぼ一生持続するので、毎年ワクチンをうつ必要はありません。
- ・本ワクチンは凍結乾燥製剤として冷蔵庫保存が可能なので、超低温フリーザーも必要ありません。したがって、本ワクチンは、小さい経済的負担で発展途上国を含む世界中で普及させることができると期待されます。



基本情報

対象病原体	ニパウイルス
モダリティ	麻疹ウイルスベクター
投与経路	皮下投与
開発支援期間 (予定)	2027年3月
開発企業 (アカデミア) 連携の有無	有